

神田小の誇りは「明るい笑顔」：すべては神田の子の「希望をはぐくむために」



# 学校だより

No. 8 さいたま市立神田小学校

平成29年 11月30日発行 電話(853)4377  
URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

## 学校教育目標

○人間性豊かで 21世紀を  
たくましく生きる神田の子  
・かしこく・たくましく・あたたかく

先月は、ご多忙の中、オレンジフェスティバルにたくさんの地域の皆様、保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。運営等に携わっていただきましたPTA役員をはじめとする保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

また、小中合同音楽会では、4年生、5年生の美しく澄んだハーモニーが会場いっぱいに響きました。校内音楽会では、各学年の児童が、工夫した音楽劇、優しく柔らかな歌声、美しい響きを披露することができました。ありがとうございました。



## 「継続は力なり」

校長 内野 多美子

11月のお話朝会では、「なわとび世界チャンピオン 鈴木勝己さん」の話をしました。鈴木勝己さんは、昭和13年生まれ、埼玉県熊谷市在住で、なわとび世界ギネス記録保持者です。その記録の一例をあげてみると、「時間とび9時間46分1秒(9万5267回)」「前方2回旋とび(2重とび)1万133回」「前方3回旋とび(三重とび)411回」「前方4回旋とび(四重とび)98回」「前方5回旋とび(五重とび)20回」「前方6回旋とび(六重とび)1回」などです。記録をみると驚くばかりです。

今年、79歳になる鈴木さんですが、70歳の時の体力測定では、100メートル走12.6秒。腕立て伏せ1分間180回、腹筋は1分間60回だったそうです。

この鈴木さんが、なわとびを始めたのは、小学校1年生の時。体が弱く学校も休みがちだった鈴木さんに、担任の先生がなわとびをすすめました。そして、小学校2年生の時には、校内なわとび大会で2重とびを203回とんで1位になったそうです。これが、自信となり、なわとびに熱中するようになりました。中学校では、陸上を始め、トレーニングの一環としてなわとびを継続したそうです。ギネス記録を打ち立てたのは37歳の時です。

一つのことに継続して取り組むことは、簡単なことではありません。でも、鈴木さんは、こう言っています。「長く続けるためには、初めから大きな目標を立てず、手の届く小さな目標を立てることが大切である。その小さな積み重ねが、やがて自分の人生を大きく変えていくことになる。」と。

なわとびは、リズム感や瞬発力、持久力などが身につく手軽な運動です。神田小学校では、12月から「なわとびチャレンジ」が始まります。冬の体力づくりに、ご家庭でも、なわとびにチャレンジしてみたいはいかがでしょうか。